

表現	英語を話すことができる																		
	英語を書くことができる																		
理解	英文を聞いて理解することができる																		
	英文を読んで理解することができる																		
言語・文化・知識	英語の語句を活用することができる																		
	単語の意味がわかる																		

実態調査から、「英語が好き」と答えた生徒は○人しかおらず、ほとんどの生徒が「英語は嫌い」と答えている。理由としては「難しい」「できない」「わからない」と言った回答が見られるが、授業での様子や定期試験、レディネステストの結果を見ると、生徒は自分が思っているほど英語ができないわけではない。概念的に英文法や英文和訳などが難しいと感じている生徒が多い。また、積極的に発表する生徒が少ないが、教師から指名されると正答を答えられることが多い。このことから、生徒に自分の英語に自信を持たせ、積極的に発表できるようにし、英語が好き（できると感じる）な生徒を増やしていきたい。

また、実態調査集計上の No○、○、○のような英語が苦手な生徒に関しては、少人数指導の機能を生かして、わからない単語や文法事項への支援を取り入れるなど、きめ細かい指導ができるようにしたい。さらに、No.○、○、○のような生徒には発展的な課題を与え、支援していきたい。

4 題材の目標

- (1) 『学習した表現を使ったコミュニケーション活動に意欲的に参加する。』（関心、意欲、態度）
- (2) 『いろいろな場所についてスピーチすることができる』（表現）
- (3) 『there is ～や接続詞 when, if を運用できる』（言語・文化）
- (4) 『本文の内容を理解することができる』（知識・理解）

5 指導計画（6時間扱い）

- (1) 課全体の導入／There is[are]～.の文の理解と運用
- (2) セクション1の読解
- (3) 接続詞 when の理解と運用・・・(本時)
- (4) セクション2の読解／接続詞 if の理解と運用
- (5) セクション3の読解／課全体のまとめ
- (6) 自分たちの国についてのスピーチ活動

6 本時の指導（3/6）

- (1) 目標
接続詞 when を用いて自分の旅行体験を話すことができる。（表現）
- (2) 仮説との関連

教科の研究仮説

学習活動の中で、身近なことについて自分の考えを書いて発表する場を作ることにより、英語で表現できたという充実感が得られ、前向きな学習態度が身につくであろう。

発表や発話に自信を持って取り組めるように、既習事項の復習をしながら、新出の文構造を取り入れ、新文構造を受け止めやすくする。これにより、自信を持って英文を作ることができ、他の生徒の前でも堂々と発表できるであろう。また、発表する前に英文を書いておくことにより、文構造をより理解し、文字で表現できるという自信にもつながると考える。このような配慮をしながら、本時の学習では身近なこととして自己の旅行経験をを用いて発表させ、成就感を持たせたい。

(3) 展開

学習内容と生徒の活動	時配 (形態)	指導上の留意点・支援と評価 (△印は評価)	資料等
1 Warm-up 英語の質問に英語で答える。	5分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 自信を持って答えられるような質問をすることで、授業の雰囲気作りをする。 	
2 過去形、過去進行形の復習 (1) 過去形を使った英文を作る。 (2) 過去進行形を使った英文を作る。	10分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項である過去形・過去進行形を思いだしながら英文を作る。 よく使いそうな語句を例題として挙げる。 (今までに訪れたことのある場所など) 	黒板
3 学習課題を理解する。	10分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞 when を用いた英文のセンテンスカードを使用し、用法を前半の文、接続詞、後半の文をそれぞれ文字の色を変え説明する。 	センテンスカード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 接続詞 when を用いて自分の旅行体験を話そう。 </div>			
4 例文を読む。 (1) 教師の後をリピート (2) 個別に3回読む	5分 (一斉・個別)	<ul style="list-style-type: none"> 文構造に慣れるよう、繰り返し英文を読む。 例) When I went to Shizuoka, I climbed Mt.Fuji. 	
5 例文を参考に、自分の旅行体験について when を用いた英文を作り、ワークシートに記入する。	10分 (個別)	<ul style="list-style-type: none"> つまづきがないか、個々に確認をして、つまづいている生徒には英文作成時に必要な単語等を教え支援をする。(特に No. ○,○,○) 	ワークシート
6 書いた英文を発表する。	8分 (個別)	△ ワークシートに書いた自分の旅行体験を発表する。(発表)	
7 本時の学習を振り返り次の目標を持つことができる。	2分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 賞賛・助言をし、今後につなげる。 	

